

## 尾瀬 景鶴山 山行報告

【山城】尾瀬

【コース】鳩待峠～景鶴山～鳩待峠

【日時】H29年3月29日（土）～30日（日）

【参加者】CL 鈴木憲二（記録） 鈴木愛子

【コースタイム】

4/29（土）千葉（自宅）4:00⇒鳩待峠8:35→山の鼻9:25着 9:50発⇒竜宮小屋11:30(泊)

4/30（日）竜宮小屋4/30→ヨッピー橋→与作岳→景鶴山8:20着 8:30発→ヨッピー橋11:05着 11:25発  
→山の鼻13:05着 13:20発→鳩待峠14:40着⇒わたすげの湯で汗を流す⇒帰葉

【記録】

4/29（土）晴れ 後雷雨 後晴れ

4月後半の連休の天気を見ながら、（計画書提出より1日ずらす）4/29、尾瀬に向かう。

昨年のゴールデンウィークは雪が少なく藪で行けなかった尾瀬ヶ原の北にそびえる景鶴山に再チャレンジである。

ようやく4/28 開通した道路で戸倉まで行き、そこからは乗り合いタクシーで鳩待峠まで行く。

そこで、ちば山の至仏山をめざすパーティに出合い、エールを交換して、先に、今日の宿の竜宮小屋を目指してスタートする。

水芭蕉、ニッコウキスゲ、ワタスゲ、紅葉等々四季折々に顔を変えていく尾瀬は春夏秋冬楽しませてくれる素晴らしい山である。その尾瀬ヶ原を歩くたびに見上げていた景鶴山に一度登ってみたいと思っていた。

この山は登山道がない。以前はヨッピー橋からケイズル沢か上ヨサク沢の尾根を登る道があったようだが、今は自然保護の為、立ち入り禁止になっている。残雪期、それも4月下旬から5月中旬の間のみ、県境尾根からのコースで登山可能となっている。

残雪の美しい尾瀬ヶ原に大感動。天候に恵まれ、前に燧ヶ岳、後ろに雪を沢山つけた至仏山、見渡す限りとても広い雪原は、高山植物が綺麗な春、夏、紅葉がきれいな秋の賑わっている尾瀬とは別の顔、歩いている人は私達の他は3パーティのみ、「いやあ、こんな尾瀬っていいなあ、いいなあ」と何度叫んだことか……。すっかり残雪の尾瀬にひきこまれてしまった。

今日の天気予報は、午後雷雨がある由、雷雨に会わないうちに竜宮小屋に着きたいので、家を朝早く出た。私達が竜宮小屋について間もなくして、本降りの雨、雷がなり、濡れずにすみ、良かった。

4/30（日）晴れ

計画の当初は、竜宮小屋からヨッピー橋まで行き、東電小屋、笹山を経由して景鶴山に登る予定であったが、東電小屋～笹山をショートカットして、笹山と1653mピークとの鞍部に出る。早朝は雪面がクラフトしていて、アイゼンがきいて快適に歩く。

ヨッピー橋で不必要なものを木にぶらさげてデポする。ヨッピー橋は幅1m位の鉄の橋で、夏は板が張ってある由だが、今の時期は板を取り除いてある。妻は怖そうに、端のロープを両手でつかまり、カニの様に横歩きしていた。

鞍部に出るまで急坂できつかった。GPSを見ながら歩を進める。鞍部にテントが2張張ってあった。さらに歩を進めると与作岳（1933m）となり、右手に平が岳、後方に会津駒ヶ岳、左手に景鶴山の三角形が見え、気合いが入った。春の陽光を浴びて、ルンルン気分で雪の稜線を歩く。

いよいよ景鶴山の頂上への登りにかかる。妻だけ頂上直下にリュックをデポし、から身で登る。上を見ると、ヌウ岩までナイフリッジの急登、そこを登り終え、やせ尾根を木の根につかまり抜けると

念願の頂上であった。標識も三角点も雪の中か、見えなかった。頂上は2～3人がやっと立てる広さであった。雪庇も張り出していて2～3人以上は危険であった。

広大な雪原の尾瀬ヶ原を挟んで東西に対峙する燧ヶ岳と至仏山、北に長い台倉尾根をかかえた平が岳等々が見え、しばらく眺望を堪能して下山にかかった。

下山は同じコースを辿る。気温が上がり、雪が腐り、つぼ足で下る。ヨッピー吊橋にデポした荷物を取り、長一尾瀬ヶ原を歩き、山の鼻から山スキーヤーに邪魔されながら、鳩待峠に着く。

わたすげの湯で汗を流し、帰路についた。

今回の山旅を終えて

自分の感想は、2年越しの景鶴山に登れ、残雪の尾瀬の美しい自然に感動、満足、充実感いっぱいの山旅であった。

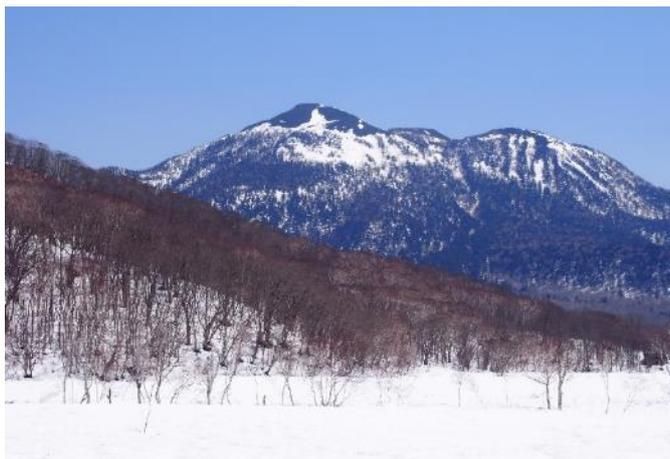
又、遠方(広島)からも、この時期にしか登れないマイナーな景鶴山に来ている人に出会い、驚き、ちょっと嬉しく思った。

### 妻の感想

1日目は久しぶりの雪山で景色も綺麗で、雪道を歩ける事がとても嬉しかった。竜宮小屋まではトレースもあり大きなこぶもなく、歩きやすかった。でも2日目は約10時間歩き(休憩を入れて)、その中の長一尾瀬ヶ原のトレースのない大きな雪のこぶだらけの2時間近くの雪原歩きは辟易した。そして最後、鳩待峠までの登りに疲れてしまった。よく山を歩いていて、「また来たいなあとか、この山は一度登ればいいや」等と思うが、景鶴山は1度登れば良い山と思った。

景鶴山の山行後に室さん達と行った、(5/4～5/5)唐松岳の山行の方が、残雪期の山行としては、ずーっと、ずーっと良かった。景鶴山には景鶴山なりの良さがあるのだが…。

唐松岳山行の時の周りの景色の白馬3山、五竜岳、鹿島槍ヶ岳等々が大きくせまり、圧倒され、頂上近くからは剣岳も見え、雄大でスケールの大きな景色に魅せられた。青い空、雪と岩とハイマツのコントラストがとても美しく、唐松岳は来年の5月にも行きたいと思った。



尾瀬ヶ原からの燧ヶ岳



至仏山をバックに尾瀬ヶ原にて



尾瀬ヶ原からの景鶴山



与作岳からの景鶴山



ヨッピー橋にて



ヨッピー橋の板が取り外してある部分



頂上直下の尾根 この先にナイフエッジの尾根あり



景鶴山頂上にて